



立命館大学学友会

2023年度 立命館大学学友会 財政公開

立命館大学学友会 財政・学友会費について

立命館大学学友会 中央事務局財務部
同 常任委員会

承認 第11回常任委員会 (2023年7月10日)

承認 第12回中央委員会 (2023年7月12日)



学友会とは

立命館大学学友会

立命館大学学友会は、
立命館大学のすべての学生が加盟し、
学生による 学生のための活動を行う、
日本最大の学生自治組織です

理念

Philosophy

「想いをカタチに」

学生による学生のための
自治組織として、学生生活
や学園全体を発展・向上さ
せるべく活動しています。



活動資金

Fund

1.85 億円

学生を対象に、大学より
代理徴収された学友会費
によって活動しています。



構成員数

Members

約 3.3 万人

立命館大学の全ての
学部生約3万3000人
が構成員の日本最大
の学生自治組織です。



設立

Establishment

1947年

現在の学友会は「平和と
民主主義」の教学理念に
基づき、戦後に再建さ
れた学生自治組織です。



学友会とは

- 学友会が行う活動は、大きく6つに分けられます
- これら学生による活動を通して学生の想いをカタチにし、学園を盛り上げ、学生生活をよりよくしています

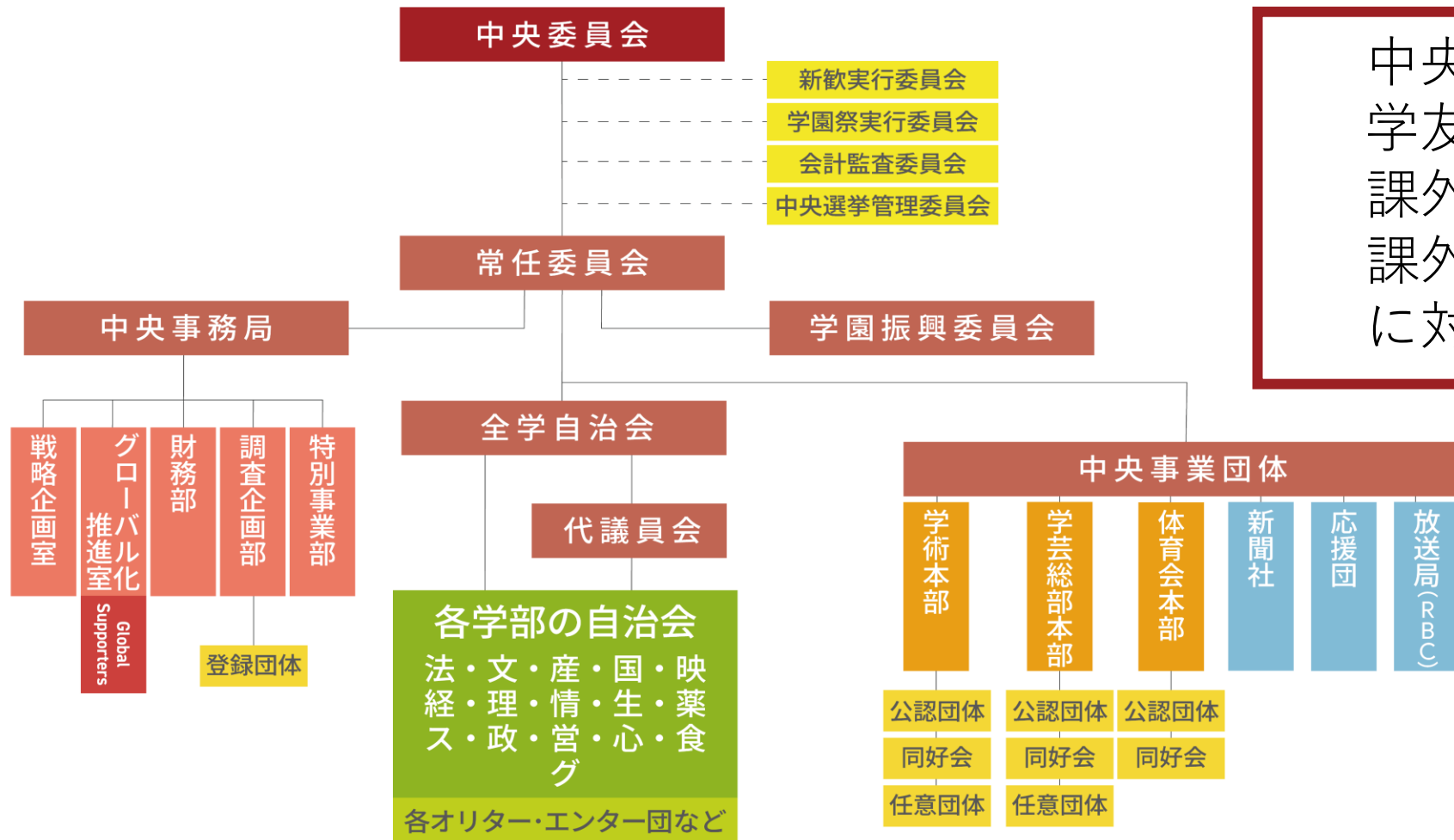


学友会費とは

立命館大学学友会では、学部生のための様々な活動を支えるため、構成員であるすべての学部生から学友会費を徴収しています



学友会費配分対象団体について



中央委員会を構成する学友会中央パートと、課外本部に所属する課外自主活動の公認団体に対して学友会費を配分

学友会費三原則

- 限りある財源(学友会費：1.85億円)を公平に分配する
- 公認団体を含め課外自主活動団体の自己負担を可能な限り低くする

学友会費3原則

正当性

学友会費の性質を考えた上で、出金がふさわしいのか

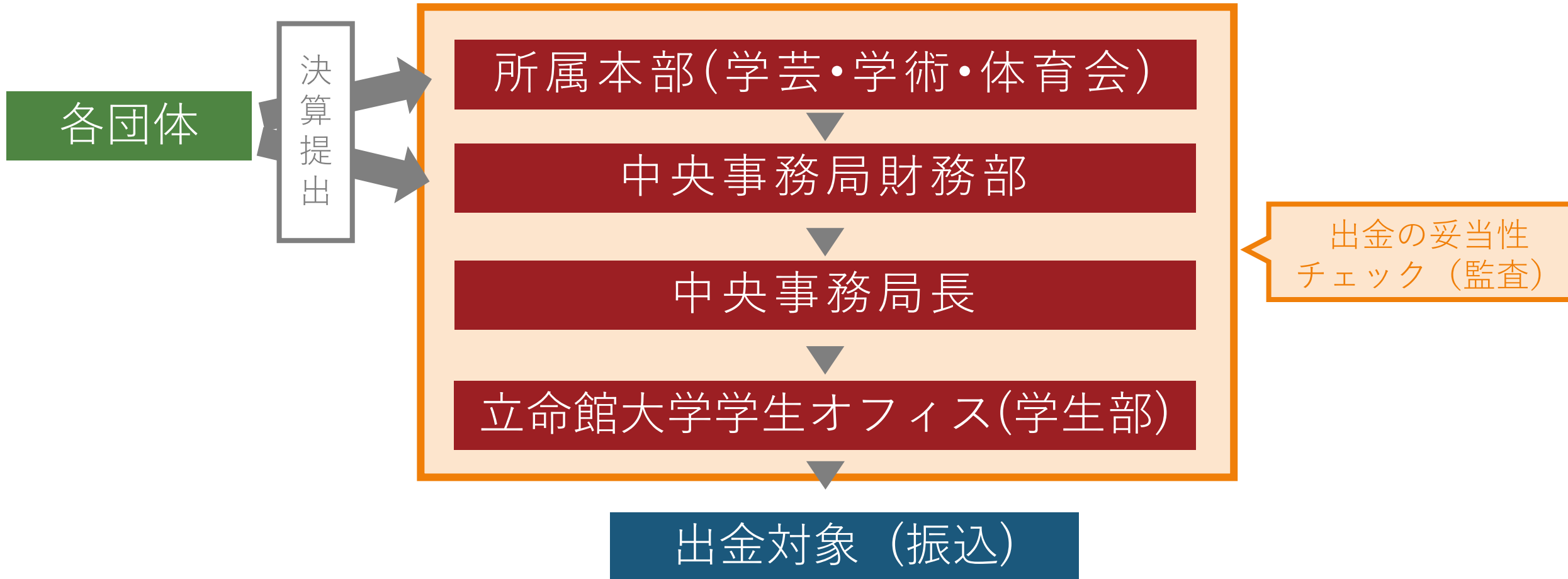
還元性

学友会費を出す学部生に対して還元する企画やそれに付随した活動に利用されているか

透明性(公開性)

学友会費の使いみちや購入品の利用方法が明確になっているか

学友会費の出金プロセス

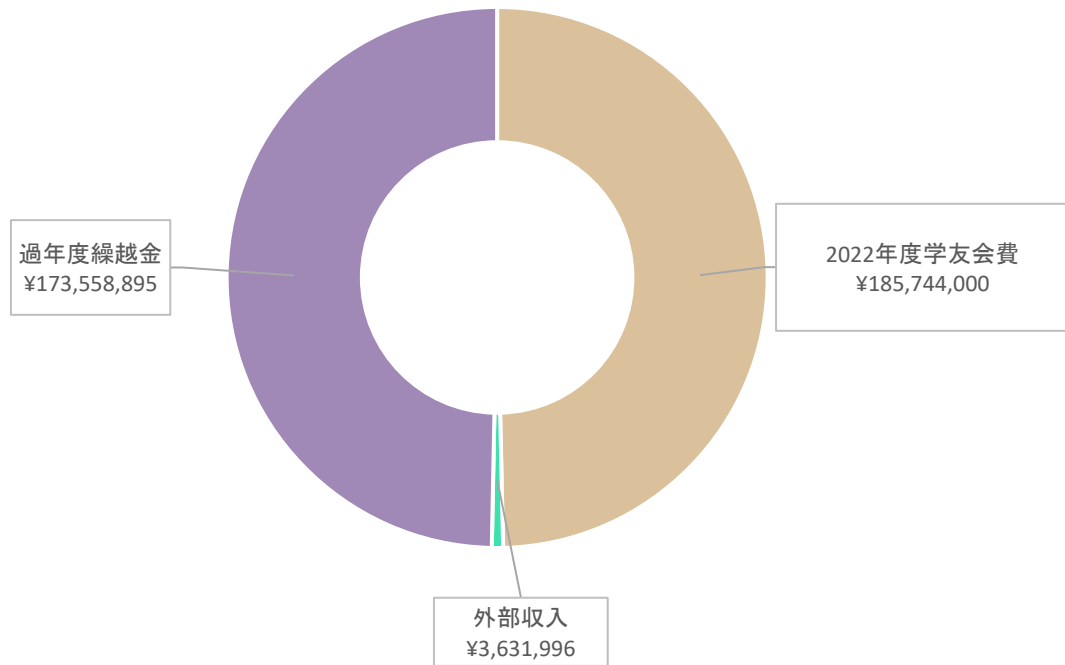


2022年度学友会収支総括

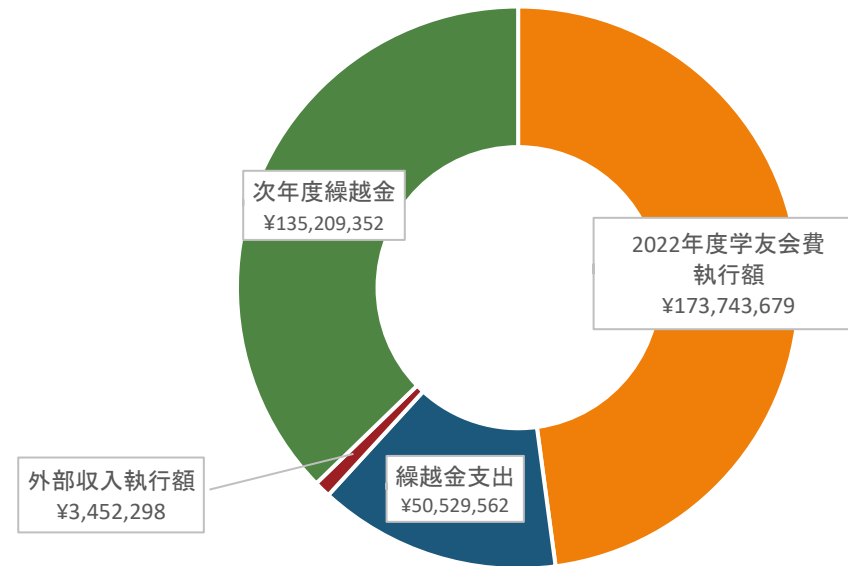
* 詳細は別途資料参照

収支総括

収入



支出



* 繰越金出金：過年度繰越金の出金（不測の事態等による出費） *次項参照

* 次年度繰越金：次年度に繰り越す学友会費

2022年度学友会費 収入内訳

* 詳細は別途資料参照

収入内訳

2022年度 総収入 ¥362,934,891

過年度繰越金

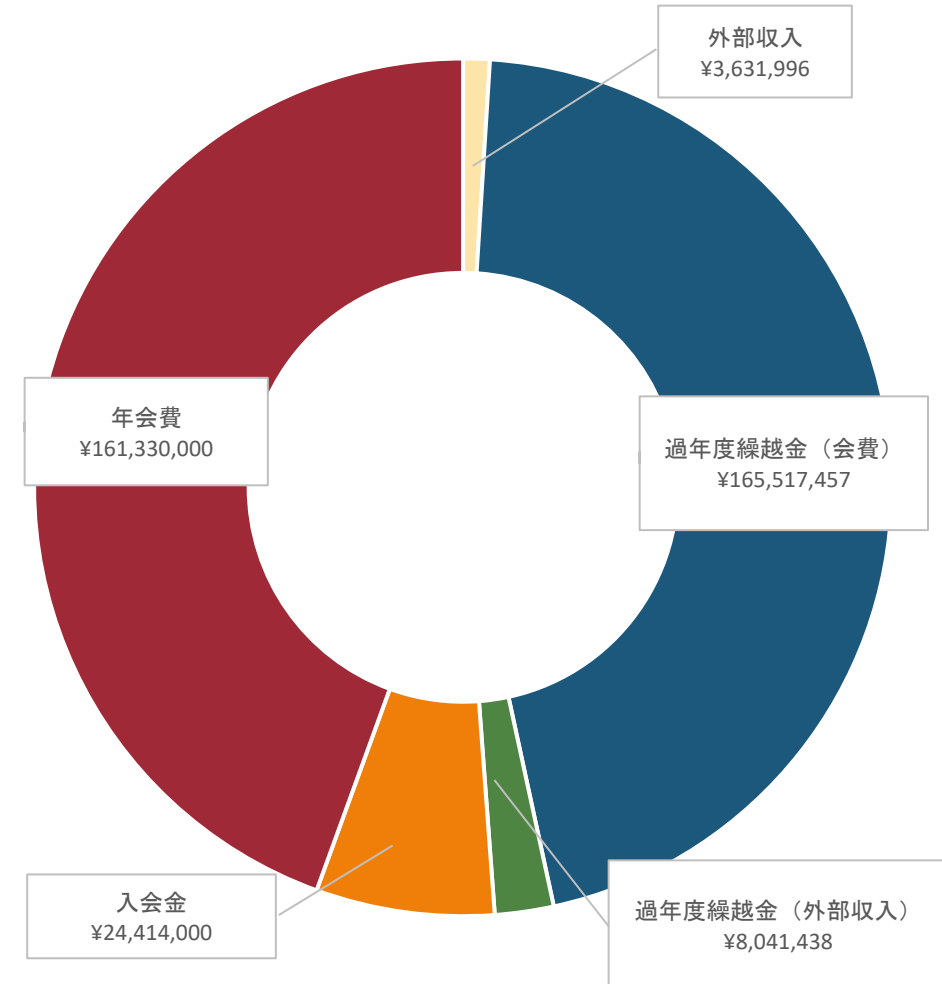
過年度の学部生からの収入
(過年度の学友会費の残余金)
= 中央委員会において、出金が適当だと
考えられる場合に支出の対象
例：予算見積はしていなかったが、
不測の事態により出金せざるを得ない
出費が発生した場合

外部収入

学園祭期などに集金する協賛金
および模擬店などの出店料金

学友会費

当該年度の学部生からの収入
= 当該年度年間予算の支出対象



2022年度学友会費 支出内訳

支出内訳

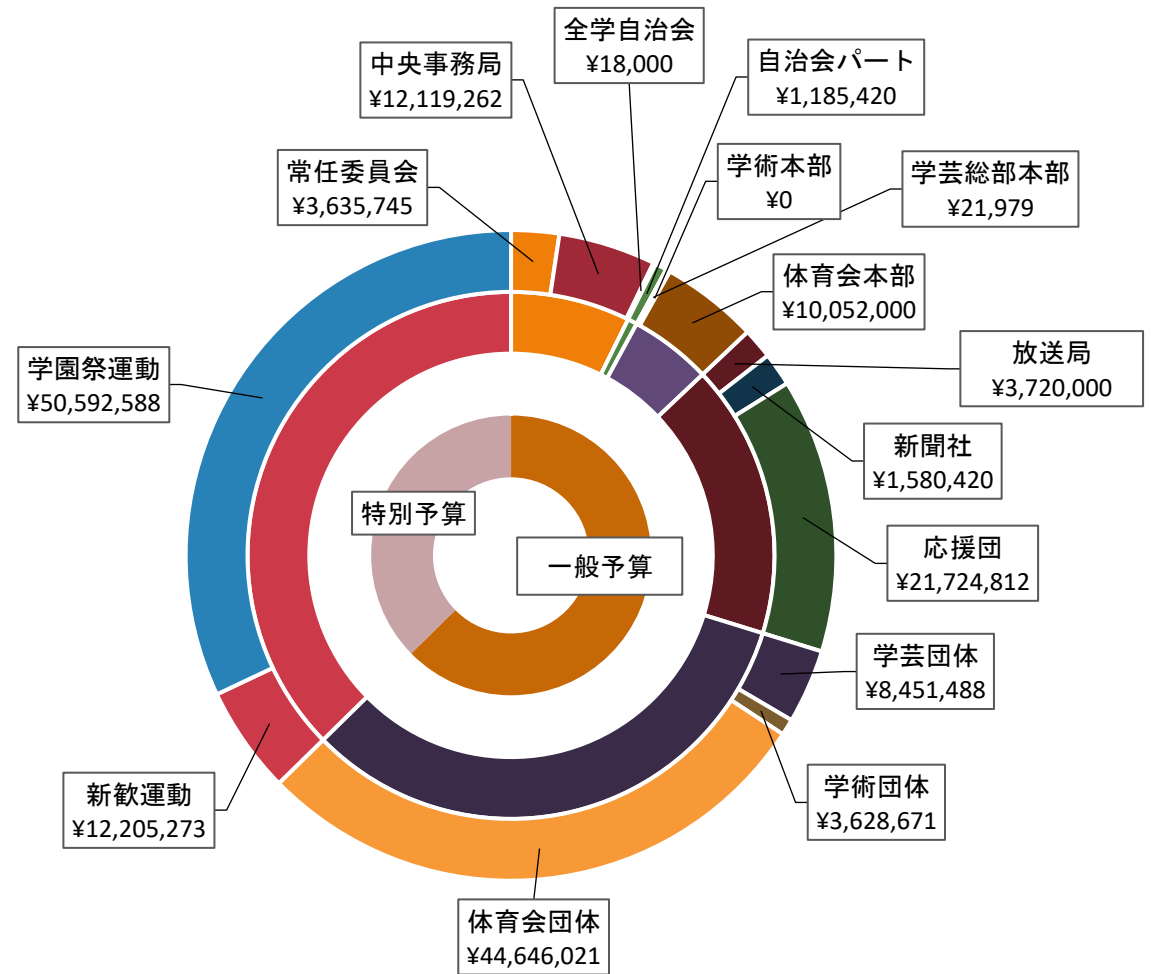
2022年度予算執行額

¥173,743,679

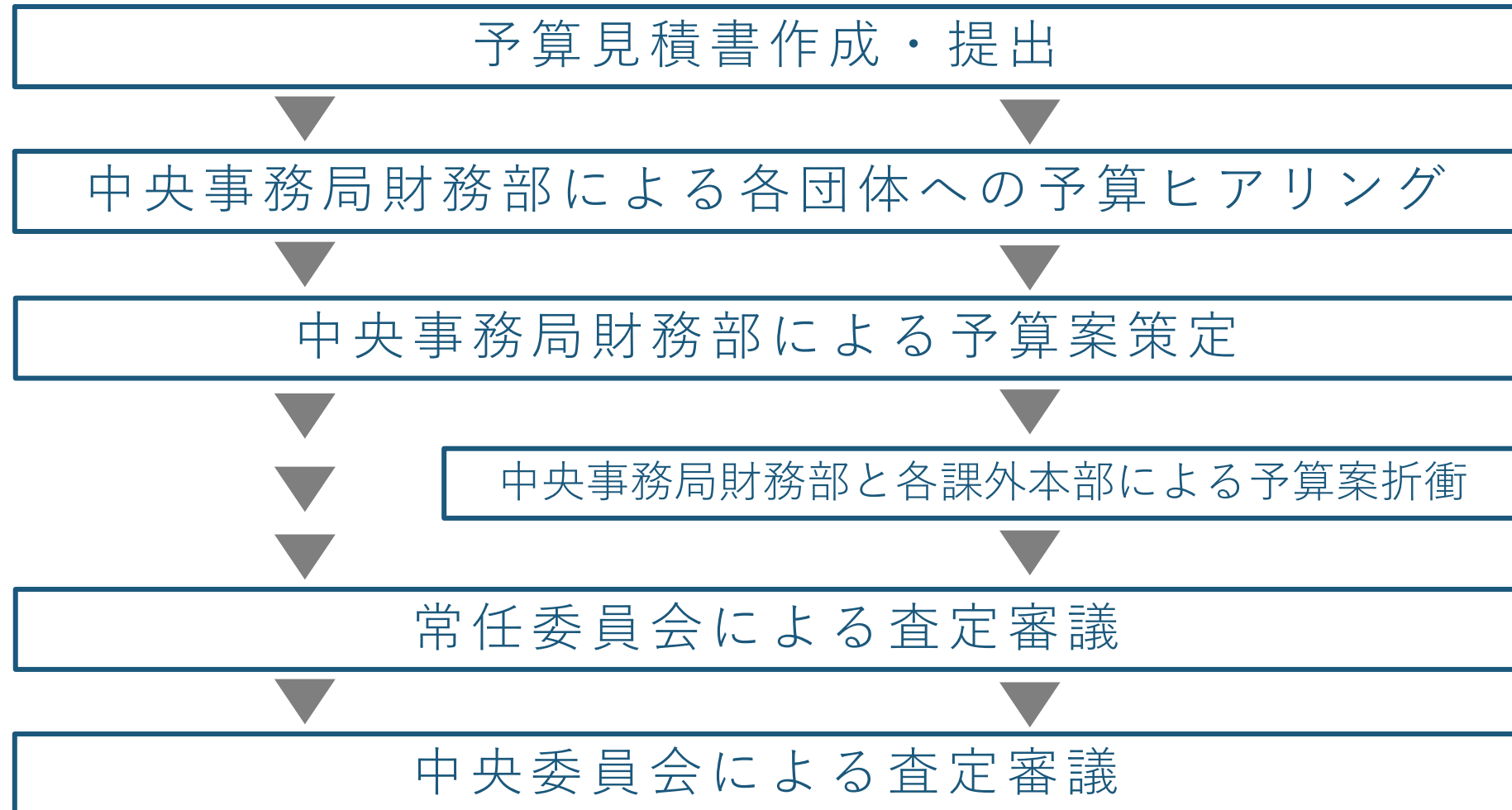
年度予算からみた予算執行率：93.9%

*通常、各団体の予算執行率は次年度の予算策定時の参考資料としているが、コロナの状況を鑑みて、2022年度は参考にしていない。

課外団体 体育会団体・学芸団体・学術団体
 事業系パート 応援団・放送局・新聞社・体育会本部
 基幹パート 中央事務局・常任委員会・全学自治会
 課外パート 学芸総部本部・学術本部
 自治会パート 各学部自治会



2023 年度年間予算の策定プロセス



中央事務局財務部による予算案策定の考え方

- 2023年度年間予算の場合

- 1 予算見積書受理
- 2 団体が活動する上で掛かる費用を把握
- 3 予算ヒアリング実施
- 4 団体活動内容の精査
- 5 団体が活動していく中で学友会費において出金（助成）されるべき費用を算出

予算における課外本部と中央事務局の位置付け

中央事務局財務部と課外本部による予算案折衝

中央事務局財務部

学友会費を適正に管理

学友会費算定基準
による概算額提示

団体の活動の実情
から予算の訂正

適正な予算額を
算出可能に

課外本部
(学術・学芸・体育会)

各団体を公正にサポート

Ⅱ部凍結金について

Ⅱ部凍結金 ¥136,190,696

…Ⅱ部学友会における残余金

Ⅱ部学友会

立命館大学にはⅠ部（昼間制）・Ⅱ部（夜間部）の区分が1996年まで存在し、2007年の夜間主コースでの最終講義まで、昼夜開講制であった。当時、Ⅱ部にも「学友会」が存在し、現在と同様に新歓運動や課外活動支援を行い、Ⅰ部学友会とは別に予算運用・学友会費徴収を行っていた。

2001年、Ⅰ部学友会・Ⅱ部学友会が統合し、現・「学友会」の形となった。Ⅱ部の廃止に伴い、Ⅱ部学友会費の残余金が凍結金とされた。

凍結金出金ガイドライン

Ⅱ部の学生から集めたお金であるために、現・学友会の年間予算の一部として利用するのは適切でないことから、2018年度に定めた、出金のためのガイドライン。

「学生生活全般の発展向上に努め、併せて学園の発展に寄与する」ことを目的とし、学園の振興により学生生活水準を向上させるものとしている。

- * **繰越金** → 当該年度の予算での出金が不適當な場合
- * **凍結金** → 実現可能性の観点で出金が難しい場合の出金が想定される。

II 部凍結金の使用

支出内訳

2022年度II部凍結金執行額

¥25,195,547

使用実例 1

りつくり2022

【執行額】 ¥22,068,221

立命館大学学友会クリスマス企画実行委員会が「コロナ禍によって希薄になってしまった”つながり”を深めることを主眼に置き、学生・教職員・地域住民の三者間の交流促進を意図して企画、実施された。(りつくり2022HPより一部引用)

使用実例2

2022年度学園祭衣笠祭典中央ステージ

【執行額】 ¥3,127,326

「2022年度学園祭衣笠祭典中央ステージ」企画実施に際して、芝生養生費用の出金の必要性が発生し、凍結金出金が行われた。その結果、単年度的ではあるが、芝生の保護につながった。